

第38回(通算2654回) 例会記録 2015年4月15日(水)

- 司会進行/ 名渡山 秋彦
- ロータリーソング/ 奉仕の理想・四つのテスト
- ゲスト卓話/ 玉城 学氏(八重山郡体育協会会長)
- メイクアップ/ 羽地宏幸・大濱達也・前原博一
(計3名)

出席報告

会 員 総 数	36名
出席義務会員	35名
出 席 数	22名
欠 席 数	13名
出 席 率	62.86%
通算出席率(4月)	70.00%

本日のニコニコ

	収入	累計
ニコニコBox	¥0	¥135,000
コインBox	¥3,841	¥86,670
合 計	¥3,841	¥221,670

会長あいさつ: 上原 秀政



私はバレーボールをずっとやっていました。中学3年間、高校3年年間、大学行って6年間、学生時代はバレーボール命でずっとやっていました。身長はそれほどありませんでしたが、ジャンプ力があつたのでライトからのアタッカーでした。最初の頃はアタックの威力もなかったんですけど、体重が少しくとパワフルなアタックも打てるようになりました。一番大学のバレーボールで思い出があるのは、大学に行くとき身長は同じなのにネットの高さが高くなって、ブロックがなかなか追いつかなくて、かなり苦労しました。でも大学の最後はキャプテンをして、信州でキャンプをしたりして、東医体(東日本医科学生総合体育

大会)で、毎年成績が悪かったんですが、唯一私がキャプテンの時にベスト16まで行った記憶があります。辛かったんですけど、楽しかった思い出です。去年ソフトバレーボールをする機会がありまして、気持ちだけはその頃と同じで、アタックを決めようとしたとたんに足の腱を痛めてしまって、ヒデ整形に行ったら手術しないとイケないと言われて、どれくらいかかるのか聞いたら3ヶ月から6ヶ月ギブスをしないとイケないという話で、ゴルフを何の支障もなく、楽しくできるからいいかと、還暦も過ぎてあまり贅沢を言うとはちが当たるんじゃないかと、やはり人間はそれ相応に年をとって、1つ不自由になり、2つ不自由になりという状況があると思うんです。完璧な状況で居ようと思っても、そうは問屋が卸さないと、贅沢を言うとはちがあたると、それよりは周りを見て下さいと、脳卒中をやったわけでもない、寝たきりになったわけでもない、そういうところで、諦めというか、まだある物に満足してやって行けばいいんじゃないかと思っています。楽しくゴルフが出来ることを感謝しております。

ゲスト卓話: 玉城 学氏

八重山郡体育協会 会長

体育協会の玉城でございます。この場にお呼び頂きまして、ありがとうございます。

八重山郡体育協会は皆さんのお蔭で一昨年80周年を迎えまして、今年で82年になります。現在25競技団体が加盟しております。何の為にやっているかという、主に競技スポーツの向上、小中高一般加盟団体の連携、指導体制の確立、優秀選手の発掘育成をしております。年間の大きな目標は毎年行われる県民体育大会、これをいかに総合力でやっていくかを大きな課題としております。では何所から収入があるかという、石垣市から今年200万、竹富町から25万、与那国町から8万、これが主な収入になっております。今年288万9千で対応しております。288万ありますがその内の50万ちょっとは沖縄県体育協会に負担金として納めます。県で定められていて、1所帯20円ということで、補助は下がるん

ですけど、石垣は所帯が増えておりますので、県に収める負担金は増えている状況です。

体育協会いつできたかという、八重山で最初の運動場として記念運動場が今の海星小学校に造られました。大正13年に昭和天皇が皇太子の頃、ご成婚の時に大阪毎日新聞社が祝の記念事業として全国の僻地の県に優勝旗を贈ろうとなりまして、沖縄県は最も僻地だということで、2流届いたそうです。その内の1流を八重山が貰って来たということで、当時は石垣村の村長坂座真さんがこれは大変だという事で、臨時議会を招集しまして、満場一致で運動場を作る事になりました。昭和14年くらいまでずっと八重山の大会はそこでやっておりました。翌年の8月11日に第1回の郡下陸上競技大会が開催されております。その時は八重山郡連合青年団という所が主催になって、石垣村、大浜村、竹富村、与那国村の4つが参加して、石垣村が1位、与那国が2位、大浜が3位、竹富4位という記録が残っております。13・14年に沖縄本島で市郡対抗の陸上大会が13年に1回、14年に2回目が行われましたが、八重山はそれには参加しませんでした。第3回大会に初めて参加しております。ニ市五郡というんですが、首里市、那覇市、中頭、国頭、島尻、八重山、宮古という中でやっております。八重山は初出場3位ということで、そこから八重山は強いと、陸上は強いということで、一気にスポーツとしては陸上競技だと燃え上がったということがございます。それまで青年団がやりましたが、一番大きかったのは郡体育協会の創立です。昭和8年の6月25日です。当時は中等学校を卒業した若い皆さんが郷土の親交を図るために民間による体育協会が設立されております。主な事業は陸上競技大会の開催ということでやってきております。そして昭和11年になりまして、初めて村対抗から各字の青年団対抗になりました。登野城、大川、新川、石垣、川平、大浜、白保、竹富、小浜、西表、この青年団が最初の字対抗の出場チームでありまして、1位が西表、2位石垣、3位白保ということになっております。そして昭和12年になりまして、民間人だけじゃだめだということで、官民合同の体協に改めてござりまして、組織の強化を図るために2代目会長に当時の八重山支庁長でありました平良和夫氏を選出しております。

今年82年を迎えますが、私で38代、19人目です。この中で皆さんご承知の亡くなられた大山正夫さんが昭和49年から24年間八重山スポーツ発展にご尽力されております。八重山体協の礎は大山さんが作られたと言っても過言ではありません。

県民大会の成績ですが、66回の大会の中で、男女総合は7番、陸上が男子2回、女子5回、壮年2回、総合1回、ソフトテニス1回、卓球が1回、柔道5回、相撲2回、卓球7回、テニス1回、バレーボール女子2回、バドミントン女子2回、男子1回、総合1回、八重山は今の所、これだけの優勝があります。ぜひ群民の期待に答えられるよう各競技団体にはっぱをかけているところがあります。では八重山は試合をするにも沖縄本島に行って金を使うということで、県、あるいは中体連、高体連が八重山に対してどういう事をしてきているかと言いますと、県民大会は現在5年に1回先島大会をしていただいております。宮古で例えば今年、5種目やりました。石垣で5種目やります。5年後に回ってきた時に、この5種目を交代してやります。ですから種目になると10年に1回しか八重山に回ってこないということです。高体連も高校総体あります。それから新人総体があります。その中から今年総体を八重山でやると新人総体は宮古で、来年はその反対と、年間に1回です。中体連は毎年1種目開催しております。

もう1つはなぜ3校陸上はなくなったか。3校陸上は伝統のある大会で、学校を上げて学校全体で選手を選びまして、そして夏休みも部活はしないで、応援団は必至で、選手も必至になって、私は選手の立場で、負ければ応援団に申し訳ないと思ひな思いもありまして、必死にやった事があります。かなりの盛り上がりを見せて、生徒が生徒を1つにまとめてやっておりました。リーダーシップを育てるにも素晴らしいという意見もありました。ただ種目がだんだん増えてきてまして、八重山を強くしてやるという専門の教師が八重山にたくさん来まして、八重山高校は部員たくさんいましたが、商工はなかなか部員を練習に貸してくれない、練習ができないというのが出て、指導者が頑張って自分たちの選手を陸上の練習に出さないというのが1つです。もう1つは机、イス、スタンド作りに持って行きます。その破損の問題、

そういうのも出てきて、3校陸上はそういう形になっております。

八重山出身者の陸上競技ですけど、国体（国民体育大会）での入賞者は宮良の方ですけど、照屋朝包、三段跳びで3回入賞しています。平得永一郎先生教員の走り高跳びで、波照間用展先生が教員の200mで、前大光男さんが青年400mで、高校時代に大江信昭くんが110mハードルで2位になっています。あとインターハイは私も最初に全国大会で三段跳びで7位になりました。屋比久清助くんが高跳びで3位、豊見本美智子さんが走り幅跳びで4位、それから前三盛敦貴くんが10種競技で上位入賞を果たしていると、そういう事で全国大会入賞はこれぐらいしか出ておりません。

それから正月に行われる箱根駅伝に八重山出身者が1人だけ走っています。登野城の新城吉一さんが八重山農林を卒業して、国士舘大学に行きまして、1962年第38回大会で8区間、区間6位で走っております。その後何名か関東の大学に行きますが、残念ながら箱根駅伝で走られた方は新城さんだけです。それからもっと大きいのが、先ほどの国体入賞の照屋朝包さん、琉大に行きまして、それから中央大学に引き抜かれ、学生最大ユニバーシアード大会で3位に入賞しております。世界で入賞した先輩もいらっしゃるんだということを知ってもらいたいと思います。

2020東京年オリンピックが決まりました。我々としては若い世代をなんとか1人でもオリンピックに送り出したいということで、各競技団体頑張ってもらっています。筑波大学の前三盛敦貴くん10種競技という過酷な競技ですが、走る事とバネがありますので飛ぶのはいいですから、投てき種目ウエイトを付ければ十分にやってくれるということで、一番期待しています。それから自転車の新城幸也くん、新城雄大くん、今プロで頑張っています。それから八重山高校3年の新城銀二くん、去年から八重山で盛んになりましたアーチェリーの八重山商工の川原壮太くん、彼は伸びしろがかなりありますので、この5名に期待しているところであります。

最後に八重山は郡であります。八重山郡体育協会です。ですけど郡に市は入らないと、宮古郡が合併しまして宮古島市になりました。我々はこれから名称をどうしようかということで、石垣市中心ですけど県民大会の仕組みの中で八重山郡（石

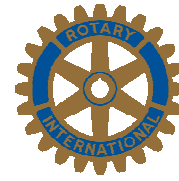
垣市を含む）とあるんです。そういう中で今この問題をどうしようかと悩んでいるところであります。貴重な時間をまとまりのない話になりましたけど、ご清聴頂きましてありがとうございました。

～例会風景～



2015年(平成27年)4月22日(水) 第39回 例会(通算2655)

国際ロータリー第2580地区



THE ISHIGAKI ROTARY

(今月のロータリーレート 1ドル118円) WEEKLY REPORT No. 2552



国際ロータリー会長テーマ

ロータリーに輝きを

Light Up Rotary

ゲイリーC. K. ホアン

石垣ロータリークラブ会長テーマ

真・善・美

2014-15 年度会長 上原 秀政

創立記念日 1962年3月12日 (54周年)



●スミナガシ(タテハチョウ科)

藍染のような日本的な蝶です。口吻が赤くておしゃれです。夕方になると活発に飛び回り、木の高いところで縄張りを見張ります。石垣島や西表島に生息している八重山産亜種。大型で青みが強くなります。

例会日 水曜日 12:30～13:30
 例会場 ホテル日航八重山(0980)83-3311
 事務局 〒907-0013 石垣市浜崎町 1-1-4
 TEL/FAX 0980-83-2917
 URL <http://ishigaki-rotary.jimdo.com>
 E-mail ishiroatary@ninus.ocn.ne.jp

会 長 : 上 原 秀 政
 副 会 長 : 新 賢 次
 幹 事 : 白 道 直 行
 副 幹 事 : 宮 良 薫
 S A A ・ 出 席 : 渡 久 地 明
 情 報 ・ 会 報 : 玉 城 守 雄